

新聞発言の真意は

町全体の発展を考えて

施策実行する／町長



しもむら かつゆき 議員
下村 勝幸

関して答えたもので、まだまだ要望に地域色が出てくるのも当然であると考えている。今後、旧両町の融和を図り、黒潮町全体の発展を目指す以上、どちらかの地域に偏った政策がいけないのは十分に理解している。しかしながら、これから私が重点的に取り組みたい事は、例えば生活道整備では、長年、過疎債の適用等で積極的に整備を推進してきた佐賀地域に比べ、大方地域が大きく遅れているわけだが、これからは大方地域に重点を置かざるを得ないと考えている。またカツオ関連事業では、必然的に佐賀地区へ重点を置くこととなる。このように、各種施策を打ち出す場合、旧両町融和に慎重に配慮をしながらも黒潮町全体としての発展を目指す考えである。

問

高知新聞4月14日付朝刊に町長談話が掲載された。記事によると、「どちらかの地域に偏った政策はいけないのは当然だが、すべて同じというのは不自然。地域の特色に合わせるべきだ。批判も出るだろうが、泥をかぶるのも町長の仕事」この発言の真意は何か。

答 大西町長

先の発言は旧2町の融和に

政策における大西カラーは何か

熟考する時間が欲しい／町長

町政施策

問

町長選挙を通じて、具体的な政策イメージは全く伝わってこなかったが、行政施策の各分野において、大西町長が力を入れたい具体的な施策は何か。また、その具体的な計画目標ならびに実行スケジュールを示せ。また、前町長時代に作成された財政シミュレーションの見直しや振興計画の見直しを行う考えはあるか。一言で言う大西カラーは何か。

答

大西町長

植田副町長

松田総務課長

今回の選挙戦において具体的な政策についてはほとんど踏み込んでいない。住民も同様の感想であろうと思う。例えば、独居老人の見守りと生きがいの創出、あるいは拡大。生活道の整備、一次産業の振興などを行いたい。

実効性を高めるためには、しっかりとした計画目標。そ

して、実行スケジュールの策定が必要である。協議を重ねるため、もう少し時間が欲しい。

財政シミュレーション、振興計画共に各課より報告を受けているが、全容、詳細を熟知するに至っていない。現在ある総合振興計画の実施計画と併せて、一日も早く全体を把握する努力をしたい。

現段階において、総合的な見直しという計画はしていないが、社会情勢や交付税の推移等々と照らし合わせながら適宜修正をしていきたい。



答弁に立つ大西町長